opusdei.org

37. カイアファは誰 ですか?

カイアファ(ヨセフ・カイファス)はイエスと同時代の大祭司でした。これは新約聖書(マタイ26,3;26,57;ルカ3,2;11,49;18,13-14;ヨハネ18,24.28;使徒言行録4,6)の中でいく度か引用されています。

2014/02/04

ユダヤ人の歴史家のフラウィウス・ ヨセフスが語るところによれば、カ イアファは紀元18年ごろヴァレリオ・グラトに任命され大祭司に昇りつめ、36年ごろヴィテロにより解任されました(ユダヤ古代誌18.2.2&18.4.3)。アンナスの娘のー

人と結婚していました。また、フラウィウス・ヨセフスによると、アンナスは紀元6年から16年の間大祭司でした(ユダヤ古代誌

18.2.1&18.2.2)。その年代記及び福音書が示すところによると、カイアファはイエスが十字架上での死刑を宣告された時の大祭司です。

彼が大祭司としての長く在任したことは、カイアファがローマ帝国の行政機関及びピラトが総督の間、非常に友好的な関係を維持してきたこうでは、 を意味する以上の証拠です。 ウィウス・ヨセフスの記述の中でのスクログでは、 ユダヤ人の宗教及び国民としてのでいるがでいた。 軽蔑及びピラトに対して抗議に立ち、 上がった人々の具体的な声が書かれ ています。ピラトの横暴に対して抗 議した人々の中に、まさにその当時 大祭司であったカイアファの名前が 無いことは両者の間の良好な関係を はっきりと示しています。ローマ帝 国の行政官たちとのその親密で協力 的な姿勢は、イエスの裁き及び十字 架での死刑の宣告に関する福音書の 中で語られてところにも反映されて います。全ての福音書の記述は、イ エスの尋問に際して、大祭司たちが イエスをピラトに引き渡すことに合 意したということで一致します(マタ イ27,1-2;マルコ15,1;ルカ23,1;ヨハ ネ18,28)。

初期のキリスト教徒がイエスの死を どのように理解したかを知るため に、イエスの有罪判決に先立つ審議 に関して福音書で語られていること は重要です。「彼らの一人でその年の 大祭司であったカイアファが言っ た。あなた方は何も分かっていな い。一人の人間が民の代わりに死 に、国民全体が滅びないで済む方が あなた方に好都合だと考えないの か。これはカイアファが自分の考え から話したのではない。その年の年 祭司だったので予言してイエスが 民のために死ぬ、と言ったので る。国民のためばかりでなく、散ら されている神の子たちを一つに集め るために死ぬ、と言ったのである」 (ヨハネ11,49-52)。

1990年、エルサレムにあるタルピオット墓地の中で12の納骨棺が見つかりました、その内の一つに対すれてアファと刻いたカイアファと判断したコセフスがカイアファと判断したもです。中には西暦一世紀のものとってものと考えられます。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/37-kaiahuahashui-desuka/(2025/11/05)